

新ごみ処理施設に係る基本構想及び基本設計説明会の実施状況に関する概要報告

令和4年8月6日(土)に大里広域市町村圏組合主催により、(仮称)新深谷清掃センターの基本構想及び基本設計についての説明会を開催いたしました。

その実施状況等に関する概要を下記のとおり報告いたします。

記

対象事業の名称	(仮称)新深谷清掃センター整備事業
説明会の実施状況	別表1のとおり
説明会での主な質疑及び意見の概要	別表2のとおり

別表1 説明会の実施状況

日時	令和4年8月6日(土) 14時~15時40分
場所	深谷市立藤沢公民館 (深谷市人見1967-1)
収容人員	30名(コロナ対策後)
住民等出席者数	20名
事業者側出席者の役職・氏名	大里広域市町村圏組合 小島深谷市長(副管理者) 三友事務局長 大屋事務局次長 清水建設準備課長 関口建設準備課副課長 深谷市 小林環境水道部長 渋澤環境衛生課長 パシフィックコンサルタンツ株式会社 3名
周知方法	大里広域市町村圏組合ホームページでの告知 深谷市自治会連合会藤沢支会区域に対し、説明会案内を回覧

別表2 8月6日 藤沢公民館説明会での主な質疑及び意見の概要

	質疑及び意見の概要	事業者側の回答
1	<p>災害に対して強靱な施設にすると記載いただいているが、櫛引断層の存在も考慮した建設候補地の選定結果なのか。</p>	<p>【組合】</p> <p>(仮称)新深谷清掃センターの建設候補地である榎合地区については、深谷市ハザードマップにおいて震度6強が想定される地区と認識しています。一方で、(仮称)新熊谷衛生センターの建設候補地である別府地区は、熊谷市ハザードマップにおいて震度6弱と想定されており、榎合地区よりも少し揺れが小さいエリアとなっています。そのため、大規模な地震が発生した場合において、仮に(仮称)新深谷清掃センターの稼働が出来なくなったとしても、(仮称)新熊谷衛生センターでの補完が可能であると考えています。</p> <p>また、建物の耐震性についても、官庁施設の耐震設計基準を満たすように設計する予定です。</p>
2	<p>現状の焼却灰の処理方法について教えていただきたい。</p>	<p>【組合】</p> <p>現深谷清掃センターで発生する焼却灰は太平洋セメント(株)へ搬出し、セメント原料化を行っています。基本、焼却灰などについては毎日、太平洋セメント(株)に運搬しており、工場敷地内に仮置きはしていません。</p> <p>なお、新ごみ処理施設は処理方式未定のため、焼却灰の発生しない処理方式であるシャフト炉式ガス化溶融方式または流動床式ガス化溶融方式が選定された場合は、ごみを溶かすことでスラグやメタルといった異なる形で処理生成物が発生します。ストーカ式か流動床式であれば、太平洋セメント(株)などの灰の資源化施設への搬出を予定しております。処理方式は今年度中の決定を予定しております。</p>

3	<p>地域に貢献し、親しまれる施設について具体的な説明をしていただきたい。</p>	<p>【組合】</p> <p>一般的には、周辺環境(パティオなど)と調和の取れた外観とすることにより、地域に馴染む印象にすることを想定しています。環境啓発や防災備蓄だけでなく、災害が起きたときに処理の継続可能であるということも地元貢献できることであると考えています。</p>
4	<p>建設候補地の面積で効率のよい処理が可能な施設を建設することは可能なのか。</p>	<p>【組合】</p> <p>施設の大きさについて、基本構想では必要最低限の面積を1.5haと設定したのに対して、建設候補地は約2.2haの用地を想定しています。そのため、新ごみ処理施設の建設は円滑に進められると考えています。</p>
5	<p>組合全体の施設規模は減っても、深谷に入ってくるパッカー車の台数は増えるのではないのか。建設候補地周辺は交通量が多く藤沢小学校もある。ルートを検討状況も教えていただきたい。</p>	<p>【組合】</p> <p>新ごみ処理施設への搬入道路は、県道熊谷児玉線や県道深谷寄居線を想定しています。新施設の集約化及び搬入区域の見直しにより寄居町のごみが搬入されることとなります。寄居町の用土地区については、現在も深谷清掃センターに搬入されていますが、今後は荒川の南岸のごみも搬入される想定ですので、荒川に架かる橋を渡って県道深谷東松山線や県道熊谷児玉線を経由する形で搬入されるようになる予定です。さらに、深谷市の黒田地区にオープンするアウトレットモールから発生するごみについても新施設に入ってくる予定です。寄居町から説明を受けている内容としては、今後の交通量の変化も考慮して搬入経路を検討していく予定であるとのことですので、引き続き構成市町と検討しながら進めていきたいと考えております。</p>
6	<p>ごみ処理施設整備基本構想検討委員会は学識経験者及び組合議員による検討とのことだが、地元の人もいたのか。</p>	<p>【組合】</p> <p>検討委員会のメンバーには、深谷市議会選出の組合議員さん、深谷市自治会連合会選出の自治会の代表の方にも入っていただいております。</p>

7	<p>県道熊谷児玉線の脇に住んでいるが、先ほどの説明ではパッカー車が7,000台増えるということだった。これまでも深谷清掃センターの煙を吸って生きてきて、がんにもなった。現施設を新設する際は農業利用や廃熱利用といった美味しい話があったが、実現はしなかった。そのため今回は要望を出したいと考えているが、自治会を通してまとめて出した方がよいか。</p>	<p>【深谷市】</p> <p>過去に地元の方々から要望をいただいたことは承知しております。予算もかかることであるため、後日改めて自治会長とお話しさせていただきます。</p>
8	<p>現施設を新設する際にも説明会を開催していた。バグフィルタも設置してダイオキシン類対策もしていた。深谷市としてもやれることはやってきたとのことだが、今回の建て替えについて、地元対策として過去の経緯を踏まえて要望を受け入れてもらえるのか。</p>	<p>【深谷市】</p> <p>過去に地元の方々の要望をいただいたことは承知しております。予算もかかることであるため、後日改めて自治会長とお話しさせていただきます。</p>
9	<p>候補地と書いてあるが、実際には決定地なのか。</p>	<p>【組合】</p> <p>候補地については、今後、埼玉県条例に基づく環境影響評価を実施した上で、新施設を建設した場合の環境負荷を予測します。予測結果を埼玉県へ提出し、環境への影響が少ないと判断された場合に、建設地として今回の計画に基づいて施設整備を進めさせていただきますと考えています。</p>

10	<p>環境へ配慮した施設とあるが、地域住民の健康の安全が心配である。基準値以下であることを地域住民へ情報開示していただきたい。過去には見学会も実施している。地域住民が納得する形での対応について、すぐに回答は求めないので、情報開示などで検討結果を報告していただきたい。</p>	<p>【組合】</p> <p>住民の皆様方のお気持ちは理解しております。現深谷清掃センターでも基準値を設けており、新施設ではそれを下回る基準値を想定しておりますが、どのような形で情報開示していくかについては重要課題の1つとして検討を進めて参ります。お示しできるようになった段階で、御報告させていただきます。</p> <p>なお、一例ではありますが、現深谷清掃センターの煙突から排出されるダイオキシン類の濃度について、直近の令和4年5月の測定結果は、基準値の0.1 ng-TEQ/m³Nに対して0.0015~0.0064ng-TEQ/m³Nという調査結果であり、基準値をクリアできている状況です。</p>
11	<p>パティオについては農林水産省の予算が入っていたと認識しているが、今回はどこかの予算を活用するのか。我々の要望を聞き入れてもらえる施設なのか。</p>	<p>【深谷市】</p> <p>パティオの新設時には農林水産省の補助金を活用しておりましたが、今回の事業における附帯施設への補助金については現時点では申し上げられません。</p>
12	<p>搬入台数が組合全体で8,000台/年減少することについて、具体的にはどういったことなのか。なぜ、2施設に集約することにより台数が減少するのか。</p>	<p>【組合】</p> <p>現在の組合全体の施設規模が540t/日であるのに対し、新しい施設ができる令和11年度及び令和12年度には人口減少によりごみの量も減少しているため、組合全体の施設規模は460t/日になる見込みです。そのため、組合全体では台数が8,000台/年の減少が見込まれると想定しております。</p> <p>また、ごみが減っていくことにより、例えば1日2回の収集が必要であった収集域が1回で済むようになることも台数が減る要因の一つであると考えています。</p>

13	<p>深谷への搬入台数が増えるとのことだが、熊谷にもっていけないのか。深谷だけ搬入台数が急激に増えるのはいかなものか。バランスを考えてもらいたい。</p>	<p>【組合】</p> <p>現状は深谷市で発生したごみの一部を熊谷衛生センターで処理している状況です。今回の新施設計画では、施設の集約化により収集区域に近い新施設に搬入するよう収集区域の見直しを行っております。台数はあくまで現時点での検討に基づく数値であることから、今後さらに精査していきたいと考えております。</p>
----	---	---

以上